

第13回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2023年11月30日（月）9:10～11:00

2. 場所

倶知安町役場2階 会議室



3. 議事

(1) 西口広場機能について… 資料1

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料1について説明

(木村委員長)

- ・昨年度の検討では、立駐案と平面案を比較しながら、立駐案を中心に検討するという方向で進んできた。検討メンバーも一新されたということで、平面案も含めて、幅広く検討していく形になると思う。

- ・木質チップを用いた融雪案の場合、どの程度の費用となるのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・費用については、検討している段階。本日時点で精査した数字を出すことはできない点ご理解いただきたい。

(波方委員)

- ・木質ペレットボイラーを活用した融雪実験結果を見る限り、積雪量が少ない場所では機能するようだが、倶知安のような豪雪地帯でも十分な融雪が可能なのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・道内における木質チップ導入の先進事例（江別市など）を見てきた結果、十分な融雪が出来ていたことを確認している。先進事例を踏まえると、倶知安においてもボイラーの大きさなども検討すれば十分に対応できると考えている。

(齋藤委員)

- ・西口側の議論をしていた際、駐車場については、「台数を確保できるか」という視点も重要だったと思う。資料に挙げられた案は200台収容できるものなのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・一般駐車場については、200程度確保したいと考えている。
- ・降雪により、駐車場の稼働率が低下し駐車台数が確保できない場合は、第2駐車場も活用する等台数は確保したいと考えている。

(青柳委員)

- ・融雪案について、平面駐車場も含めてやるとなるとランニングコストがかなりかかることが予想される。融雪はロータリー部分だけにとどめ、駐車場部分は屋根をつけるなどということにできないのか？

(木村委員長)

- ・コストが出てこないと判断できない部分がある。今後、コストを出して検討することが必要。

(倶知安町 植田主幹)

- ・ロータリー部分について、融雪案の方が屋根をかけるよりも安くなるということで考えている。
- ・ご指摘頂いたような、融雪と屋根の折衷案などは充分検討の余地があると思う。

(木村委員長)

- ・駅を出た時に見える景観も重要な要素になるが、平面案の方が、視界が開けるということで考えていいのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・ご指摘のとおり。

(窪田委員)

- ・ケース3とケース4の組み合わせが、現実的かと思っていた。ロータリーについては、車部分は融雪、歩行者部分は屋根、駐車場については屋根があるということが大事になると思う。
- ・駐車場から駅前のアクセスについても、少し離れてしまってもアクセス路に屋根をかけるといいと思う。
- ・融雪する部分としない部分に段差ができるので、その点に留意する必要がある。

(波方委員)

- ・融雪案の時のボイラー室や木質チップの保管庫や乾燥室などのスペースは考えているのか。木質ペレットを活用する場合、十分に乾燥させる必要があるはず。

(倶知安町 植田主幹)

- ・ボイラー室については町有地の活用なども含めて駅周辺で確保しなければならないと考えている。木質チップの乾燥室も必要。先進地の取組をみると、含水率が高くても燃やせるボイラーもあった。倶知安町に適したボイラーを検討する必要がある。
- ・駅周辺だけでなく町全体の需要動向なども含め、どこに設置するかという点を検討していく必要があると考えている。

(青柳委員)

- ・費用の部分を抜きにして考えると、ロータリー部分は視界が開けている方がいい。また、動線部分に屋根がかかればオールシーズンで対応できるということでもいいと思う。

(木村委員長)

- ・駐車場までのアクセスも重要。積雪地の新幹線駅では、飯山駅に駐車場までのアクセス通路に工夫している例、青森駅のように駐車場を駅舎に併設する例などがある。

(波方委員)

- ・旅行者の視点で考えると目的地の天候などは想像できないと思う。そう考えると天候によらずアクセスしやすい環境をつくるのが大事だと思う。

(青柳委員)

- ・ロータリーに屋根をかけるときの費用とかけない場合の費用ではどの程度の差が出てくるのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・屋根をかけた場合は、10億円くらい必要になると見込んでいる。

(岩佐委員)

- ・利用者目線で言うと、駐車場は立駐が望ましい。できるだけ駅の近くに停めたいし、離れた場所まで歩きたくない。ロータリーについては、融雪があれば特に屋根は必要ないと思う。

(木村委員長)

- ・仮に駐車場を平面にした場合、緑化を工夫するなど検討の余地はあるのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・まずは、立駐か平面かという方針を決めていきたいと思う。具体的なデザイン等については改めて検討していきたいと思う。

(木村委員長)

- ・デザインについては、改めて議論ということで了解した。

(波方委員)

- ・平面にするメリットは、費用面を抑えられること。本日のように雪が降り続けると、車の雪をおろす必要があり、雪だまりができ、事故にも繋がるかもしれない。観光客目線だと平面のデメリットの方が大きくなるように思う。平面で屋根や融雪をすると、管理するコストが多くなり、管理が大変になると思う。そう考えると立駐案の方がいいと思う。

(一木臨時委員)

- ・整備新幹線の事例では、二次交通のアクセスを考慮したキャノピーを設置することが多い。福井駅は福井市が整備して融雪を行っており、融雪コストはそこまで高くない印象。
- ・横殴りの雪が降った時に、キャノピーの下部分が融雪されていると利用者は歩きやすいと思う。

(木村委員長)

- ・本州の場合は消雪パイプなども活用しているが、北海道の場合は難しい。

(倶知安町 植田主幹)

- ・昨年度も雪対策を実施しないというのはあり得ないということで議論が始まった。

- ・東口についても、ロータリー、駅前広場の歩行空間なども含めて融雪の導入を検討しているところ。こういった経緯を踏まえ、今回、再生エネルギーの活用ということで案を出させてもらっている。

- ・立駐案、平面案の組み合わせ、必要なコストなども含めて検討を進めていきたいと思っている。

(木村委員長)

- ・コストについても、導入可能性の目安（町としての許容範囲）なども含めて教えて頂ければと思う。

- ・駐車場の台数についても、今後拡張の可能性があるということで考えて差し支えないのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・駐車場については、周辺の町有地の活用を含めて必要な台数を確保していきたいと思っている。

(窪田委員)

- ・ケース3の副案として小規模な立駐と記載されているが、今の第1駐車場と第2駐車場以外の場所にも立駐を整備することは可能なのか。例えば、ロータリーに近接した場所を活用するなど。

(倶知安町 植田主幹)

- ・第1駐車場及び第2駐車場のエリアでの整備が前提となると考えている。

(2) 駅舎デザイン推薦案の検討… 資料2

(倶知安町 植田主幹)

- ・資料2について説明

(木村委員長)

- ・3案提示された駅舎デザイン案について、1案に絞っていく過程について説明があった。

(一木臨時委員)

- ・鉄道・運輸機構としては、駅舎デザインを広く知ってもらいたいと考えており、お手元にお配りしたポストカードを作成した。

- ・アンケート調査についても、できるだけ多くの方に知っていただいた上で、ご回答いただけたらと考えている。

- ・案については、言葉で伝えていくような機会があれば伝えていきたいと思っている。

(窪田委員)

- ・ポストカードはどのように使う予定なのか？

(一木臨時委員)

- ・現場見学会や鉄道関連のイベントがあればその機会に配布していきたいと思っている。倶知安町とは違う機会を想定しているが、必要があれば倶知安町さんの取組への活用も含めて検討していきたい。

(木村委員長)

- ・西口側のデザインについては、どうなるのか？

(一木臨時委員)

- ・都市施設部分を除いて東西対称のデザインになる予定。

(木村委員長)

- ・アンケート調査の実施などについてご意見あれば。

(波方委員)

- ・アンケートの回答率*を上げるためには、SNS、例えばLINEを活用してはどうか。回答率*をあげる方法として、インセンティブを設けることもありかと思う。例えば、アンケートに答えていただいた方に、倶知安町のキャラクターであるじゃが太君のラインスタンプをプレゼントするなどがあれば面白いと思う。
- ・回答率*を上げるためには、回答者の名前の記入はないほうがよい。
- ・タブレットの利用はいいと思う。

(倶知安町 植田主幹)

- ・インセンティブについては、倶知安町としては物で釣るような形にしたくないと思っている。
- ・記名にするかどうかは、庁内でも意見が割れているところ。アンケート調査にも回答者の思いをもたせられたらと思い、現時点では記名ありとした。

(岩佐委員)

- ・名前については無記名がいいと思う。
- ・回答率*が極端に低かった時でも、多数決になるのか？回答率*の最低ラインを決めていく必要があると思う。
- ・アンケートの実施に関する周知方法についても検討する必要があると思う。

(木村委員長)

- ・周知の方法について、具体的なアイデアなどはあるか。

(青柳委員)

- ・氏名の記入については、任意でいいと思う。
- ・周知の方法については、Youtubeなどの動画サイトなどで音声付の紹介動画をつくってはどうか。

(木村委員長)

- ・鉄道・運輸機構などで動画を作成しているか？作成はお願いできるものなのか？

(一木臨時委員)

- ・各駅の足並みの問題もあるので動画製作は難しいが、素材の提供などであれば可能である。

(窪田委員)

- ・気運を盛り上げる方法の1つとして、駅前商店街の各店舗や観光協会に協力いただければどうか。駅前にポスターを貼った方がよい。
- ・鉄道・運輸機構から提示された駅舎デザイン3案は細かいディテールまで表現されていると思う。広報に入れる際、高解像度の絵を見せられるような工夫をした方がいいと思う。

(波方委員)

- ・周知については、我々も含めた関係者間で頑張っって周知活動をしていくのが大事だと思う。
- ・360度画像で見られるようなものがあればと思うが可能か。

(一木臨時委員)

- ・様々な角度から見られるようなものについては、現時点では難しい。

(木村委員長)

- ・いろんな世代に理解して頂くような工夫が必要だと思う。
- ・町民以外の方に対して意見を聞くような機会についてはどうか。

(岩佐委員)

- ・動画については、クオリティよりは量を追求した方がいいと思う。例えば、ショート動画を複数公開する等。

(木村委員長)

- ・そのためには、拡散していくような仕組みが必要になるかもしれない。

(倶知安町 植田主幹)

- ・アンケート期間は限られるので、町外の方も含めて周知について工夫していきたいと思う。また、広報紙についても画質には配慮したものにしたいと思っている。
- ・なお、八雲町では町の広報誌・HPにQRコードをつけて実施したということで、今のところ1,200票くらいの回答があり、うち町外が1割くらいあったということを知っている。

(木村委員長)

- ・動画発信については、個々に発信しても問題ないのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・周知については、町が発信しているものについては、どんどんご協力いただければと思う。

(波方委員)

- ・集計結果を発表する時はどのようなイメージなのか。また、選定方法はどうか。

(木村委員長)

- ・有効投票率などのことについても

(倶知安町 植田主幹)

- ・最終結果については、町のHPや広報紙で発表することを想定している。
- ・有効投票率については、特に設定していない。
- ・選定手法については、今のところ人気があるものを優先ということで考えている。

(木村委員長)

- ・最終決定はどこがすることになるのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・最終的には町が決定することになる。

(波方委員)

- ・重複回答については対策を考えているのか。

(倶知安町 植田主幹)

- ・その対策の一環として、記名式ということで考えている。ただ、偽名を使われる可能性もあるのでその場合の対策はしていないのが正直なところ。

- ・スタートは1月以降、1月の広報紙に織り込んだ上で1月末くらいの〆切を考えている。

(波方委員)

- ・広報紙は配布したら、すぐに回答できるような仕組みにして頂ければと思う。

(倶知安町 植田主幹)

- ・できるだけ配慮していきたいと思う。

4. その他

(倶知安町 植田主幹)

- ・次回の委員会は、12/25（月）午後の開催を想定している。
- ・今年度は全5回の開催を予定しており、駅舎デザインのアンケート調査結果がまとまる時期を考慮すると、第4回は2月、第5回は3月上旬と考えている。
- ・次回からは、都市施設についても議論を進めたいと思っている。都市施設の検討を依頼している、JR九州コンサルタンツ㈱から一言ご挨拶をいただきたい。

(JR九州コンサルタンツ㈱建築設計部 古賀部長)

- ・当社は、倶知安駅と合わせて都市施設の設計を担当させていただく。当社は、これまでに新函館北斗駅の函館保守基地や北陸新幹線の車両基地の総合事務所、西九州新幹線嬉野温泉駅等を設計している実績がある。この実績を、本事業でも活かしていきたい。
- ・本委員の皆様のご意見をいただきながら、設計を進めていきたいと考えている。

以上

回答率※：アンケート調査の配布数が定かではないことから、回答率は算出できない。このため、各委員の「回答率を上げる」という表現は、「回答数を増やす」という認識とする。